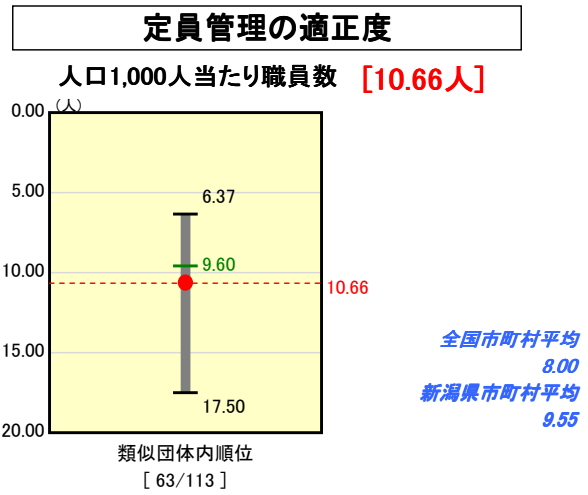
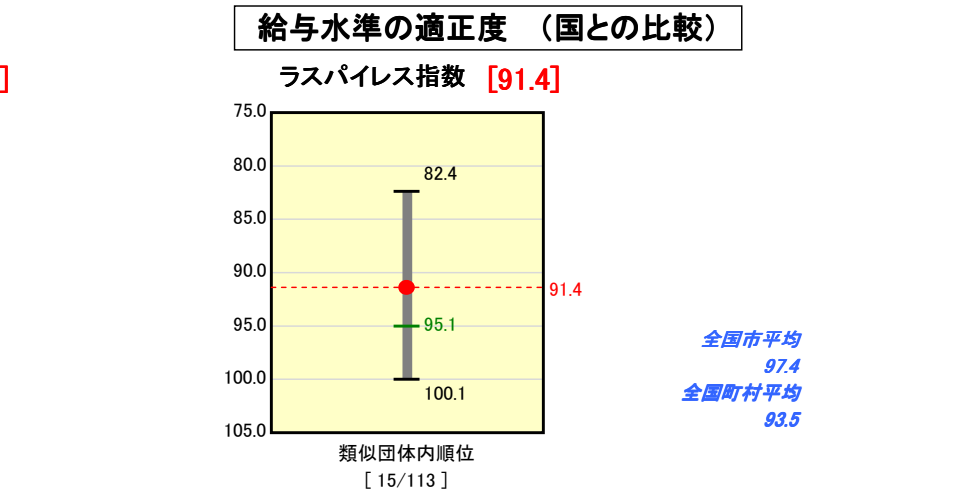
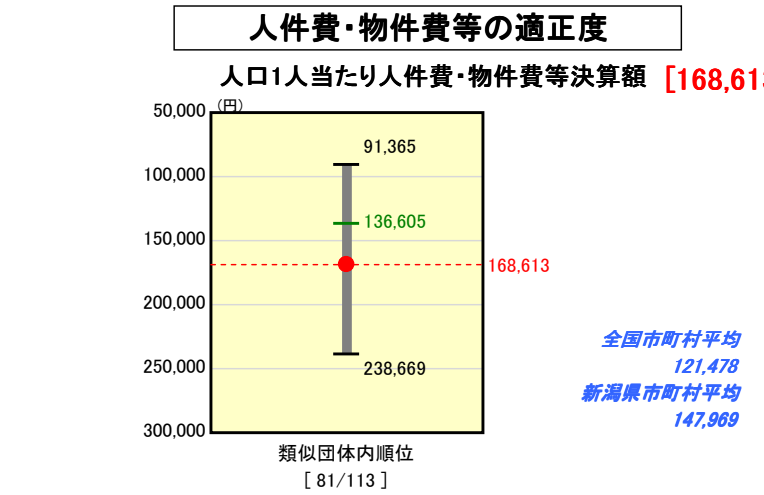
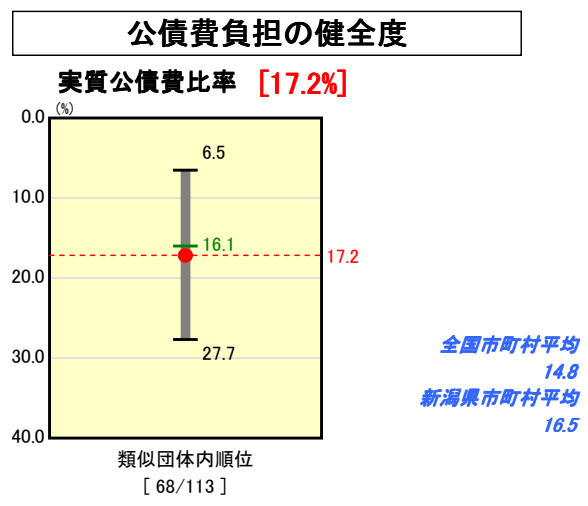
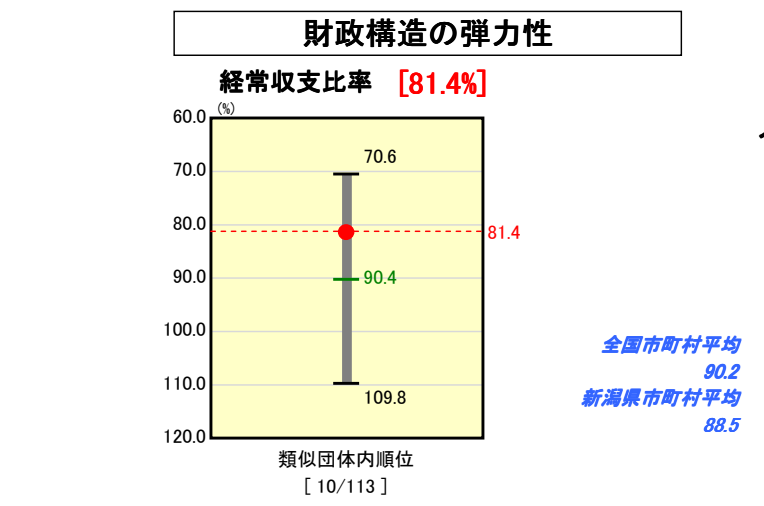
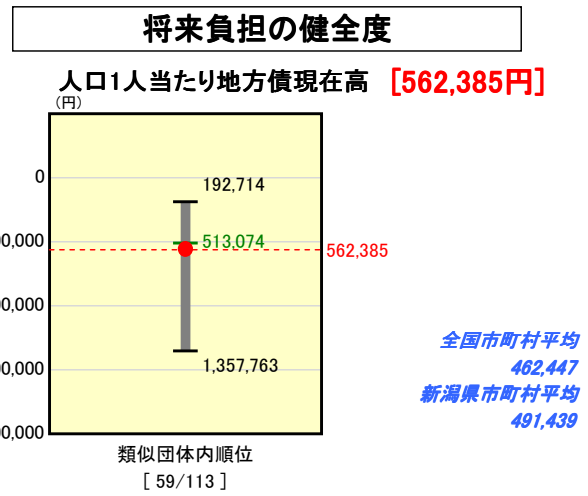
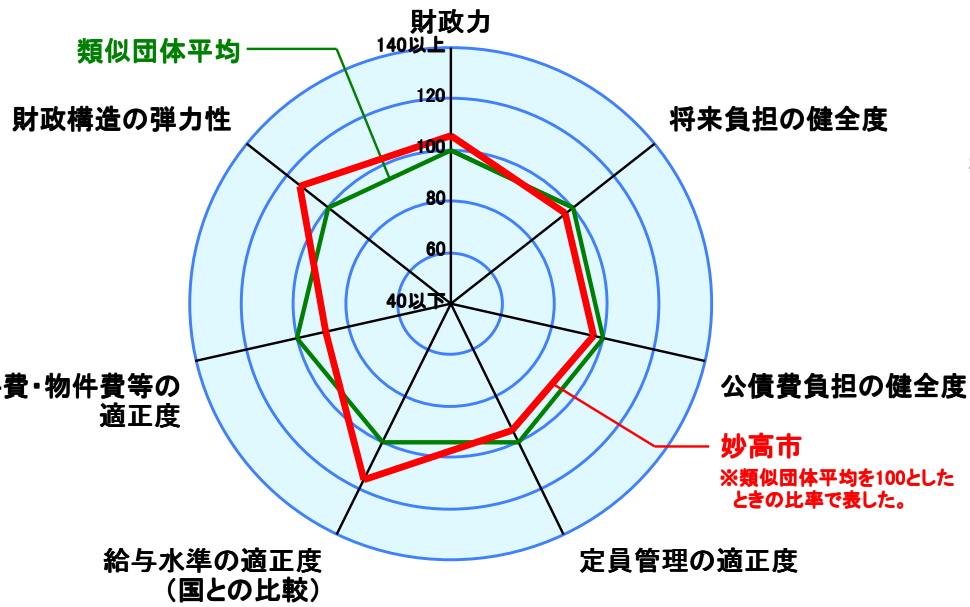
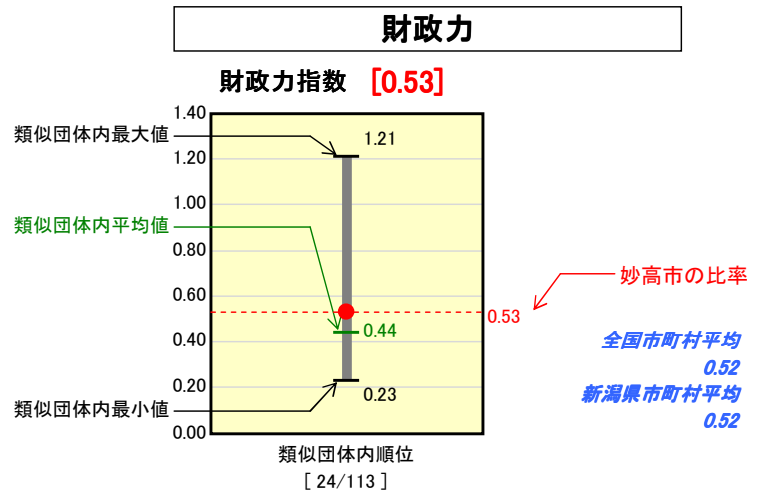


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

新潟県 妙高市

人口	38,452人	(H18.3.31現在)
面積	445.52	km ²
歳入総額	23,673,776	千円
歳出総額	22,402,713	千円
実質収支	1,141,414	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数
製造業を中心とした大型事業所の集中等により、類似団体平均を上回る税収があるため0.53となっているが、税収が16年度に比べ6.8%減少するなど近年低下傾向にあることから、税収の徴収率向上対策事業を推進し、滞納額の圧縮を図るなど徴収業務の強化に取り組んでいる。また、新たな企業誘致や農業・観光関連産業の育成など税源涵養に努めている。
- 経常収支比率
17年4月1日に市町村合併し、人件費や物件費など経常経費については、合併によるメリットを最大限に生かした効率化を図り削減したことから、3.7ポイント改善した。今後も、行財政のスリム化・効率化をさらに推進し、現在の水準を維持する。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均を大幅に上回っているのは、主に維持補修費が要因となっている。類似団体平均の維持補修費を30,034円上回っているが、これは、主に冬期間における除排雪経費によるもので、17年度についても18年豪雪のため多くの費用がかかったものである。また、人件費、物件費についても、合併によるメリットを生かし、今後とも削減を推進する。
- ラスパイレース指数
類似団体の平均より3.7ポイント低くなっているが、今後も国家公務員の給与法改正に準じ、年功的な給与構造から職務・職責に応じた構造への転換を図り、昇給においては、より細やかな勤務成績の反映を行うこと等により、給与水準の適正化を図る。
- 人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均と比較して大きな数値となっているが、17年度は起債発行額を元金償還額の範囲内で可能な限り抑制したため、前年度比△8,149円の減となった。今後は22年度末までに市債残高5億円(1人当たり13,003円)の削減を目標に、財政構造の健全化を推進する。
- 実質公債費比率
類似団体平均を上回っているものの17.2%と、起債許可となる18.0%を下回っている状況にある。今後も、市債残高5億円削減を図るため、起債発行額を元金償還額の範囲内で可能な限り抑制する等により、適正な水準を維持していく。
- 人口1,000人当たり職員数
類似団体平均より1.06人多いが、市域が広大で山間地を多く抱えることから、小規模な保育園、小学校が多く点在するため、民生、教育部門で職員数が多い傾向にある。17年度で策定した定員適正化計画に基づき、5年間で職員数を12.93%削減する等、より適切な定員管理に努める。

(※前年比等は、合併前市町村の数値の合算等との比較)